

## 平成 30 年度勤労者支援事業部第 2 回研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 勤労者支援事業部

日 時 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 10 : 30 ~ 15 : 30

会 場 名 熊本県総合保健センター 3 階 大研修会

### ライフスタイルに寄り添った働き盛りの健康支援を考える

#### ◇講義 『産業医に聞いてみよう! ~働く人の労働環境・健康管理の現状と課題~』

講師: 日本赤十字社熊本健康管理センター 野波善郎 先生

前半は、産業医の仕事とはどんなものなのかについて、多くの症例を通じながら紹介がありました。ひと言に働く人の労働環境や健康管理といっても、職種により多種多様な背景や環境がありますが、普段見ることが出来ない会社や現場の裏側の写真などを使いながら説明がありましたので、産業医の仕事の「イメージ」を掴むことができました。栄養相談の場合もそれぞれの職場環境等を十分考慮しながら相談を行うことが大切であるとあらためて感じました。

産業医としての、安全配慮の考え方等についても、具体的な症例を使いながら説明がありました

メンタル不調の方も少なくない昨今、産業医としてどのように関わっているのか、自律神経調整を優先すべきである点を念頭において受診者と関わっていくべきであると再認識しました。

実施後のアンケートの感想でも、「普段聞けない産業医の話を知ることができたことで、働く環境と栄養指導の関わりについて勉強できた」など受講者の多くの方が満足されて好評でした。



#### ◇演習 第一章 『知っておきたい保健指導の基礎知識』

菊池養生園保健組合 菊池広域保健センター

管理栄養士 中村 允俊氏

#### 第二章 『健診結果を読み解く秘訣』

~みんなで考える特定保健指導事例検討~

菊池養生園保健組合 菊池広域保健センター  
日赤熊本健康管理センター

管理栄養士 田中 裕子氏

管理栄養士 嶋田 けい氏

管理栄養士 生山 由利子氏

第一章として、前半は、特定保健指導に実際に携っていない受講者もおられるため、第二章の事例検討をスムーズに進めるためにクイズ形式でレクチャーを行いました。クイズの内容は、後半の事例を検討するときに参考にできる内容を中心に作成しました。

症例については、問診票や結果表だけでなく、楽しんで事例検討に参加していただけるようにロールプレイでの紹介も行いました。

「保健指導のための事例検討シート」を使って

1. この健康診断において問題となる項目について（異常の把握）
2. 健康診断結果から読み取れるライフスタイルについて（個別性の把握）
3. 保健指導の優先順位（問題点の把握）
4. 保健指導において問題となる点は（行動変容の問題点の把握）
5. 行動変容のためになすべき保健指導は（実施上の問題点の把握）

の順番で、説明や質問を受けながら事例を掘り下げていきました。

事例検討中も、終始和やかな雰囲気が進み、終了後のアンケートでも「自分と違う視点からの意見が聞けてよかった」「1つの症例を深く考えることが出来てよかった」「指導の上で役に立つキーワードや視点を広げることができました」などの意見があり、参加者それぞれがご自身の栄養相談について気づきを深めていただけたのではないかと思います。

